様式第2号（第1条の4関係）　　（表面）

児童手当・特例給付　認定請求書

…市長　様

請求者は生計の中心者（父母のうち所得の高い者）になります。

請求者名義の口座情報を記入ください。

提出年月日	※受付確認年月日
令和5・1・1	令和　・　・

請求者	①（ふりがな） 氏名（法人名等）	せんなん　たろう 泉南　太郎	②性別	男・女	③生年月日	明治・大正 昭和・平成　45・7・1	
	⑥住所（法人の主たる事務所の所在地）	〒　590－0500 泉南市樽井1丁目1番1号　電話　072（483）3472					
	1月1日時点の住所（1～5月分は前年、6～12月分は本年）	（上欄と異なる場合に記入してください） ●●市△△町1丁目1番1号					

④職業	ア．被用者 イ．公務員 ウ．被用者等でない者	⑤配偶者の有無	有・無	⑦個人番号	0 0	
⑧支払希望金融機関	名称：●●（銀行・金庫・信組・農協・漁協）	支店コード（3ケタ）：0 0 1	支店名：××支店	口座番号	0 0 0 0 0	センナン　タロウ

被用者・・・会社員など
公務員・・・勤務先へ申請してください
被用者等でない者・・・個人事業主、健康保険の被扶養者など

配偶者等	⑨（ふりがな） 氏名	せんなん　はなこ 泉南　花子	児童手当又は特例給付の支給要件の該当性を審査するため、市区町村が必要な税情報の公簿等の確認を行うことに同意します。		⑪住所（⑥と異なる場合）	
	⑩職業	ア．被用者 イ．公務員（勤務先：　） ウ．被用者等でない者	⑫個人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1月1日時点の住所（1～5月分は前年、6～12月分は本年）	（上欄と異なる場合に記入してください）

⑬児童

氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所	監護の有無	生計関係	※児童との関係で、該当する場合に○印	※3歳未満の児童○印	※3歳以上小学校修了前の児童○印	※小学校修了後中学校修了前の児童○印
泉南　一郎	子	平成・令和　30・1・1	同・別	平成・令和　年　月		有・無	同一・維持	・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母			
泉南　二郎	子	平成・令和　2・1・1	同・別	平成・令和　年　月			同一・維持				
		平成・令和　・・	同・別					・同居父母			
		平成・令和　・・	同・別			有・無	同一・維持	・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母			

18歳になった年度が終了前の児童についてご記入ください。

児童を別居して監護している場合や、海外に留学している場合には、別途提出していただく書類がございます。

別居の場合はご記入ください。

児童が実子で生計が同じであれば「同一」に、実子でない児童の生計を維持している場合は「維持」に○を付けてください。

灰色枠内は記入する必要はありません

⑭加入している公的年金制度の種別	ア．厚生年金保険 ※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に○を記入してください。 （　）私立学校教職員共済 （　）国家公務員共済 （　）地方公務員等共済	イ．国民年金 ウ．その他（　）	⑮請求者の扶養親族等及び児童の数	人 （うち70歳以上の同一生計配偶者及び老人扶養親族の合計数　人）	認定・却下	認定・却下年月日：令和　・　・
			⑯所得の状況	令和　年分所得額 （請求者）　円 （配偶者）　円	控除後の所得額：円	所得制限限度額：円

支給開始年月	区分	手当月額
令和　・	・児童手当 ・特例給付	3歳未満分　円 3歳以上小学校修了前分　円 中学生分　円 計　円

共済組合に該当している方も、厚生年金に該当しますので、アに○をつけてください。
そのうえで、加入している共済組合の（　）内に○をご記入ください。

⑮⑯について、不明であれば空欄でご提出いただいてもかまいません。

※審査	年分所得	うち給与所得/公的年金等の場合の控除額（上	る控除額）	雑損控除額	医療費控除額	小規模企業共済等掛け金控除額	障害者控除額 障　人・特障　人	寡婦・ひとり親・勤労学生控除
	円	円	円	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円	円	円	円

◎　裏面の注意をよく読んでから記入してください。　※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書（かいしょ）ではっきり書いてください。